

草津白根山の火山活動解説資料

気象庁地震火山部
火山監視・情報センター

＜噴火予報（噴火警戒レベル1、平常）が継続＞

本日（6月14日）、群馬県防災航空隊の協力を得て行った上空からの調査では、湯釜火口内の北壁の高温域が引き続き確認されました。

【防災上の警戒事項等】

山頂火口から概ね500mの範囲では、火山灰の噴出等に警戒が必要です。また、ところどころで火山ガスの噴出が見られ、周辺の窪地や谷などでは滞留した火山ガスが高濃度になることがありますので、注意が必要です。

平成21年4月10日に噴火予報を発表し、警戒事項を切り替えました（噴火警戒レベル1（平常）継続）。その後、予報警戒事項に変更はありません。

○ 活動概況

・上空からの調査（図1、図2）

本日（6月14日）午前、群馬県防災航空隊の協力を得て行った上空からの調査では、湯釜火口内に特段の変化は認められませんでした。

赤外熱映像装置¹⁾による観測では、地表面温度分布に大きな変化はなく、2008年以降確認されている湯釜火口内の北壁の高温域が引き続き確認されました。

・地震や微動の発生状況

5月27日00時30分頃、火山性微動（継続時間：約8分）が発生し、その後、湯釜の南付近を震源とする振幅の小さな火山性地震が一時的に増加しました。この火山性微動の発生前後で空振計の記録に変化は認められませんでした。火山性微動の発生は2008年1月9日以来でした。

6月5日の午後から湯釜付近を震源とする振幅の小さな火山性地震が発生し始め、6日にかけて増加しました。日別地震回数は、5日9回、6日86回、7日21回、8日9回でした。この活動に際し、火山性微動は観測されませんでした。その後は地震活動は1日あたり0～3回と静穏な状態で経過しています。

・地殻変動の状況

5月27日00時30分頃の火山性微動の発生に伴い、傾斜計で微小な傾斜変動が観測されました。GPS連続観測では、火山活動によるとみられる変動は認められていません。

1) 赤外熱映像装置は物体が放射する赤外線を感知して温度分布を測定する測器です。熱源から離れた場所から測定することができる利点がありますが、測定距離や大気等の影響で実際の熱源の温度よりも低く測定される場合があります。

この火山活動解説資料は気象庁ホームページ（<http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/volcano.html>）でも閲覧することができます。

※この記号の資料は気象庁のほか、東京工業大学のデータも利用して作成しています。

資料の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 50mメッシュ（標高）』『数値地図 25000（地図画像）』を使用しています（承認番号：平20業使、第385号）。



図 1 本日の草津白根山湯釜火口の状況
2011 年 6 月 14 日 11 時 07 分 湯釜火口の南上空から撮影

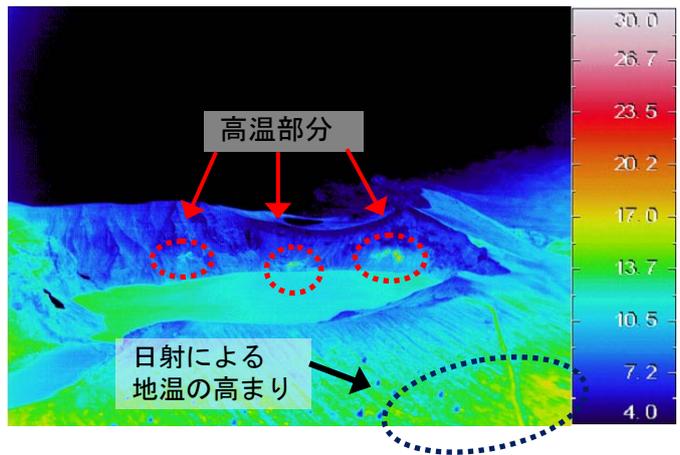


図 2 草津白根山 湯釜火口の状況【今回の観測】
2011 年 6 月 14 日 11 時 06 分 湯釜火口の南、高度約 2,100mから撮影

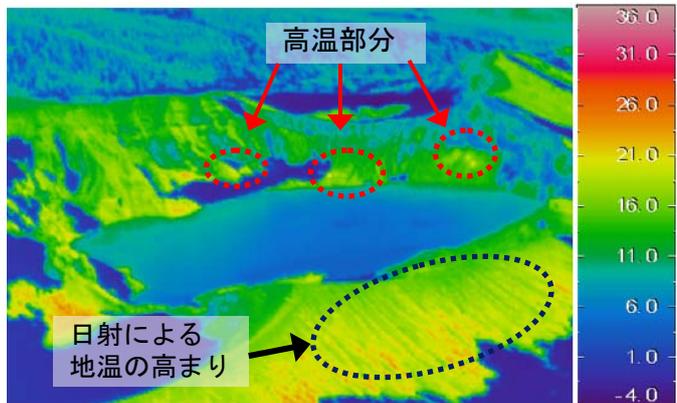


図 3 草津白根山 湯釜火口の状況【前回の観測】
2010 年 4 月 13 日 11 時 07 分 湯釜火口の南西高度約 2,200mから撮影

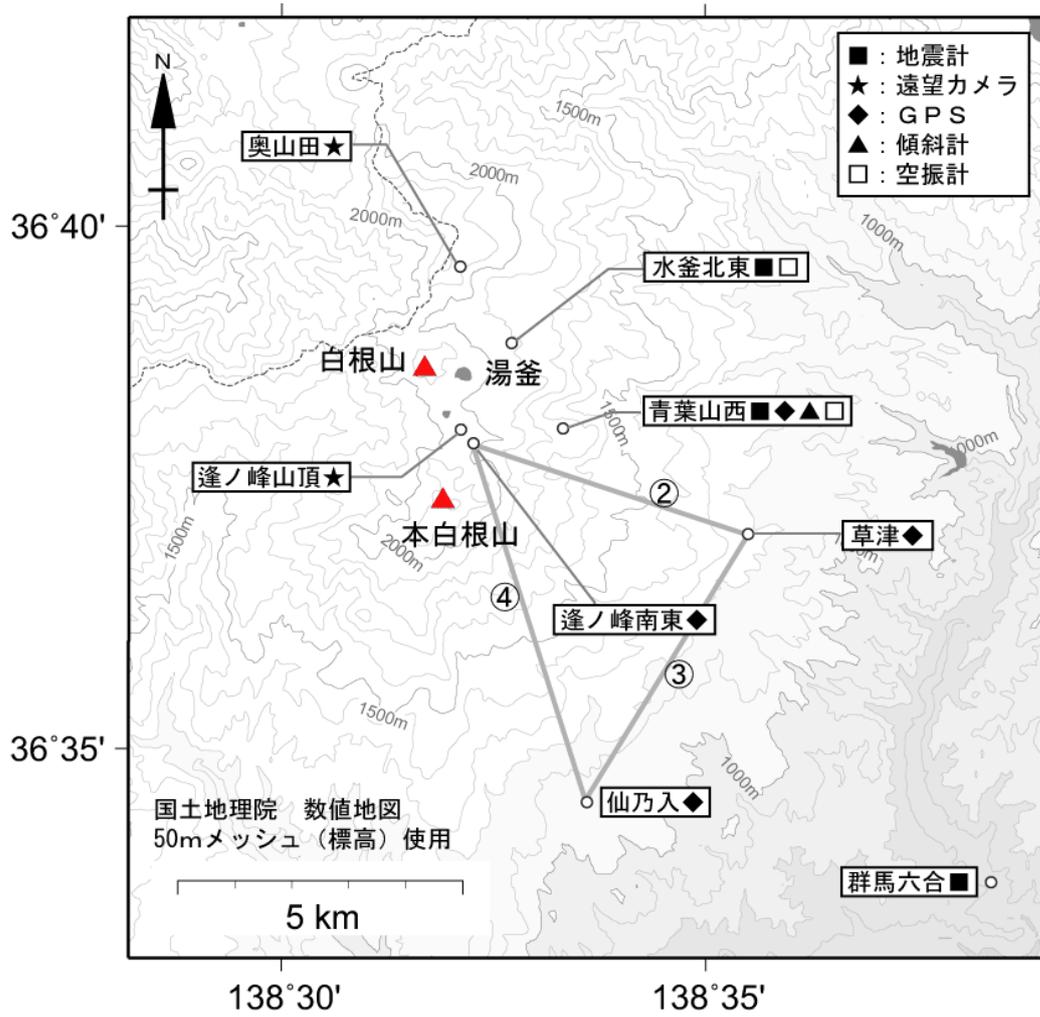


図4 草津白根山 気象庁の観測点配置図（小さな白丸は観測点位置を示しています）